

多施設で利用可能な 看護ケアクリニカルパスの開発①

化学療法(汎用)看護ケアパス作成のコンセプトと運用状況



清水弥生1) 船田千秋2) 溝田園子3) 森本麻里3) 近藤恵美子4)

- 1) NHO 四国がんセンター
- 2) 名古屋大学医学部付属病院
- 3) 一般財団法人永瀬会 松山市民病院
- 4) 社会医療法人石川記念会 HITO病院

化学療法(汎用)看護ケアパス作成経緯

多種多様なレジメン毎のパス作成は停滞



看護計画に基づいた看護ケアパス作成

化学療法を受ける患者への
標準的な看護提供ツール

汎用的に使用



共通のベンダー間での共有にむけて検証中

化学療法(汎用)看護ケアパス 作成のコンセプト



タスクテンプレート

看護権限で操作可能な項目で構成

大分類	中分類	小分類	属性
看護目標 評価基準			コメント
安静度			看護
観察項目			看護(観察項目)
看護処置			看護
看護ケア			看護(日常生活ケア,他)
退院調整			看護
リハビリ			看護、リハビリ
カルテ			カルテ(看護記録)
食事			食事

アウトカム

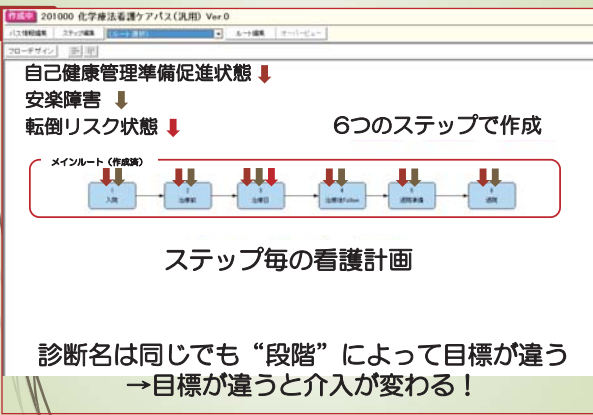
看護目標

観察項目

看護ケア

退院調整

ステップフロー

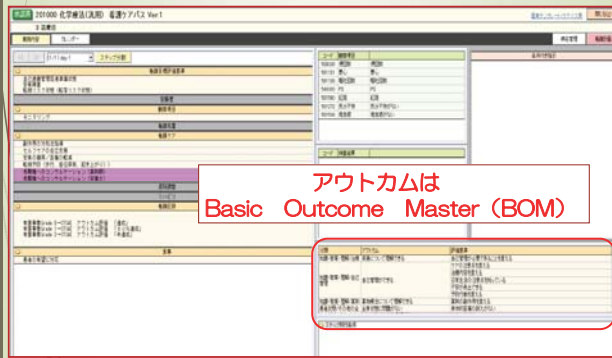


アウトカムと看護目標

自己管理の支援

有害事象の観察
CTCAEの標準用語

パス画面（日めくり画面）



アウトカムは
Basic Outcome Master (BOM)

パス画面（オーバービュー画面）

観察用語・介入用語は
看護標準用語マスター (MEDIS)

看護ケアパスは

看護計画を基本に作成

看護目標 = アウトカム
観察項目 = 観察項目
看護ケア = 看護ケア

看護計画のセットオーダー

化学療法（汎用）看護ケアパス 使用マニュアル

化学療法（汎用）看護ケアパス 適用基準

パスが作成されていない

- * 入院化学療法患者
- * 化学療法に関する有害事象の対症療法患者

化学療法（汎用）看護ケアパス 運用のルール

- 適用：適用基準に準ずる
- 延長、ルート変更 各ステップは24時間で設定しているため、レジメンや患者の状態に合わせてステップを延長・ルート変更する。
- 中止：中止基準 退院
入院中、化学療法が中止（中断）された場合でも“化学療法に関する有害事象の対症療法患者”として看護ケアが継続される場合は、パスを中止（終了）する必要はない
- 看護計画評価 アウトカム評価を持って看護計画の評価とする。

看護師の判断で看護師が適用

運用状況

平成26年11月から平成27年6月まで

- ケアパス適用数 60件
- 適用診療科（4） 婦人科 消化器内科
頭頸科 形成外科
- 適用病棟（2/8）
- 適用レジメン（9）



汎用的に取り組めるように検討が必要



結語

四国がんセンターにおいてケアパスを運用することができた。

このパスを共通のベンダー間で共有ができれば看護の標準化を図ることが可能であろう。

運用方法についてはさらに検討を重ね、より汎用的に利用できるよう取り組んでいく。